



印 西 市

議 会 だより

第166号

平成25年(2013年)11月

発 行 千葉県印西市議会

編 集 議会だより編集委員会

〒270-1396

千葉県印西市大森2364-2

TEL 0476-42-5111(代)

FAX 0476-42-5299

メールアドレス

gikai@city.inzai.lg.jp



第

3

回

定例会

平

成

25

年

会期 9月4日～
10月4日

子ども・子育て会議設置条例が可決

目 次

P2 印西市一般会計歳入歳出決算
本会議で不認定に
決算審査特別委員会審査報告

P3～7 議員16人が登壇
一般質問
(代表質問6人 個人質問10人)

P7 2委員会が先進地へ
委員会行政視察報告

P8 常任委員会の審査内容

P9 議案と審議結果一覧

P10 発議案・陳情
懲罰特別委員会設置
議会日誌
編集後記

新メンバーでスタート

議会改革推進特別委員会

引き続き印西市議会における改革すべき事項について検討を行い、議会改革を推し進めていくことを目的に設置されました。
選出した委員は以下のとおりです。

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
軍司 俊紀	浅沼 美弥子	中澤 俊介	橋本 和治	藤代 武雄	金丸 和史	山田 喜代子
						松本 多一郎

第3回定例会は会期が1日延長され、31日間で開催されました。
今定例会では条例の制定が1件、条例の一部改正が9件、条例の廃止が1件、平成25年度補正予算が3件、その他5件の計19議案のほか、平成24年度決算の認定が6件、報告2件、同意2件、諮問2件、議員発議による発議案が6件、陳情3件、処分要求1件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。

また、発議等による特別委員会の設置が3件ありました。
なお、議案などの議決結果については、9ページに掲載しています。

平成24年度 一般会計歳入歳出決算

決算審査特別委員会 認定 → 本会議 不認定



決算審査特別委員会 審査報告

決算審査特別委員会設置

「平成24年度印西市各会計歳入歳出決算」、「平成24年度印西市水道事業会計決算」を重点的に審査するため決算審査特別委員会を設置し、付託しました。

決算審査特別委員会は、9月10日、11日、12日の3日間にわたり開催され、活発かつ慎重な審査を行いました。

ここでは、審査における主な質疑及びその答弁について要約して掲載します。

選出した委員は次のとおり

- 委員長 酢崎 義行
- 副委員長 近藤 瑞枝
- 委員 雨宮 弘明
- 委員 岩崎 成子
- 委員 國嶋 久善
- 委員 橋本 和治
- 委員 上條 公司
- 委員 金丸 和史
- 委員 板橋 睦
- 委員 山田喜代子

審査結果

- ◆平成24年度印西市一般会計歳入歳出決算（認定）
- ◆平成24年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算（認定）
- ◆平成24年度印西市下水道事業特別会計歳入歳出決算（認定）
- ◆平成24年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算（認定）
- ◆平成24年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算（認定）
- ◆平成24年度印西市水道事業会計決算（認定）

決算審査

特別委員会 審査報告

印西市一般会計について

質疑① 北総線高運賃対策事業について、市民の家計への負担軽減が図られ、北総線沿線地域の活性化が図られたと成果が書いてあるが、この8112万7400円の内訳、北総線の合意書に基づく補助金は8100万円だが、他の12万7400円の内訳は。

答弁 旅費が5400円、千葉県JR線複線化等促進期成同盟の負担金が8000円、千葉県西部北総地域鉄道建設促進期成同盟負担金が1万3000円、成田線活性化推進協議会負担金が10万1000円、北総鉄道運賃値下げ支援補助金で8100万円、計8112万7400円である。

質疑② 投票所が十分にバリアフリー化されていたか。

答弁 投票所には、何力所か段差のあるところがあるが、その投票所については選挙のたびに段差がないように措置している。段差を緩和する板等が敷けない場合については、職員等が対応している状況である。

質疑③ 女性の悩み相談業務委託の詳細は。

答弁 女性が抱えるさまざまな悩みに対し、専門の相談員が相談に応じることで、相談者みずからの力で解決していけるよう適切な支援をしているものである。委託先はN

P.O法人ウイメンズカウンセリング。事業は毎月第1、第3木曜日の月2回実施している。委託料は年間で50万4000円である。

質疑④ 印西市PTA連絡協議会運営事業補助金の執行率は42%で、半分以上になっている。補助対象事業に変更があったのか、それからどういうものに補助したのか。

答弁 補助対象の講演会が2回の予定であったが1回となったことによる執行残である。

事業としては理事会、専門研修会、講習会等を行っており、これらの経費について補助している。

質疑⑤ コミュニティ助成事業の使途は。また助成により活性化、自治意識の高揚は図られたのか。

答弁 結縁寺町内会の神輿の修理である。3月に事業を完了したことにより、今年度の祭りから使用できる。その祭りにより、地域住民の親睦と融和が図られ、町内会活動

の活性化が見込まれる。

《討論》

1名の反対討論がありました。

印西市特別会計について

質疑① 国民健康保険料の限度額を上げたが、一般会計から3億円ほど持ち出せば今後この制度は維持できるか。

答弁 医療費の高騰や高齢化の進展、保険料の限度額の限界、一般会計からの繰り入れの限界等を考えると厳しい。国からの助成が必要だと考えている。

《討論》

ありませんでした。

本会議で不認定

決算審査特別委員会で、認定となりました平成24年度一般会計歳入歳出決算認定は、本会議において不認定となりました。

本会議における討論を要約して掲載します。

《反対討論》

●町内会自治会補助金に関して

・町内会自治会補助金の支出については、印西市行政協力補助金交付要綱に違反しているため。

●北総鉄道運賃値下げ支援補助金

・北総鉄道運賃値下げ支援補助金支出については、北総線運賃値下げにかかる合意書に違反しているため。

●町内会自治会連合会に対する過払い返還請求

・市長が行った町内会自治会連合会に対する過払い返還請求は、一方で議会に対して決算の認定を求めながら、その一方で市長自ら決算を否定する行為であるため。

《賛成討論》

ありませんでした。

なお、本会議における賛否一覧は9ページに掲載しています。

平成24年度 会計別決算額表

会 計 名		区 分	予 算 額	決 算 額
一 般 会 計		歳 入	309億1000万0000円	326億9348万8768円
		歳 出	309億1000万0000円	302億9634万5785円
国民健康保険特別会計		歳 入	73億3124万3000円	76億7854万3376円
		歳 出	73億3124万3000円	74億2260万1479円
下水道事業特別会計		歳 入	15億1556万4000円	14億3325万1217円
		歳 出	15億1556万4000円	13億4481万1976円
介護保険特別会計		歳 入	37億1894万6000円	38億9613万9527円
		歳 出	37億1894万6000円	37億0029万1408円
後期高齢者医療特別会計		歳 入	5億3728万6000円	5億1163万4929円
		歳 出	5億3728万6000円	5億0442万3905円
合 計		歳 入	440億1303万9000円	462億1305万7817円
		歳 出	440億1303万9000円	432億6847万4553円
企 業 会 計		区 分	予 算 額	決 算 額
水道事業会計	収益の収支	歳 入	6億1219万3000円	6億1978万9940円
		歳 出	6億0420万0000円	5億9377万6112円
	資本の収支	歳 入	149万6000円	149万6000円
		歳 出	7797万8000円	7470万4169円

一 般 質 問

《一般質問とは》

議員が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して質問したり、政策を提案するものです。

今定例会では、16人の議員による会派代表質問及び個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

代表質問

板倉市政一年の検証・ 旧印旛高校跡地活用 昂（すばる） 松本 多一郎 議員

質問1 市長公約の実現状況について伺う。

①ごみ焼却場の用地検討委員会の検討状況と今後の予定②ごみの減量状況③北総線運賃値下げについて④学童クラブの現況⑤普通教室のエアコン設置について⑥買い物難民対策の現状について

市長 ①用地検討委員会は5回開催されたが遅れを生じている。11月に募集方法等の答申を受け、用地募集を平成26年1月から3月までを予定している。7月に候補地選定の答申予定。②1人1日当たり排出量目標841グラムだが実績895グラムで厳しい状況である。③26年度までは合意事項を履行していく。27年度以降については、今年度中に関係者間で方向性を見出していく。④学童クラブについては、小倉台第2、六合学

童クラブを新設、木刈、いには野学童クラブを増築した。西の原、高花学童クラブに待機児童が発生している。

教育部長 ⑤エアコン設置費用は360教室設置すると11億円前後の経費が必要。

環境経済部長 ⑥西の原には来年夏ごろオープン予定の(株)カスミの進出が決定している。高花、滝野は決まっていない。

質問2 旧印旛高校跡地活用計画について①整備方針とスケジュールを伺う②用地問題について③整備費用について

市長 旧印旛高校跡地を西側高台部区域と東側低地部区域に分け高台部は本年度、低地部は来年度以降に分割取得する。高台部で実施する5つの交付金対象事業は27年度までに事業完了、その他の事業は29年度までの事業完了をめざす。

③整備費用は約28億2000万円と試算、インフラ施設の整備費が大きい。

◆その他の質問

- 福祉施策について（高齢者福祉・子育て支援・地域医療）
- 千葉ニュータウン事業収束へ向けての課題
- 21住区問題



旧印旛高校跡地

代表質問

アマゾン・LCC・ 上場企業を誘致せよ 北総志政会 中澤 俊介 議員

質問1 平成25年度末をも

って千葉ニュータウン事業が収束するが、印西市内には、200ヘクタールに及ぶ広大な事業用地が残る。都市再生機構では、平成30年度までに、土地の供給・処分を完了するとしているが、実現の可能性は極めて低い。そこで、会派では、長期的、大局的視点に立った政策判断のもと、今年度いっぱい日切れとなる、印西市企業立地奨励制度の5年延長を提案するのはいかがでしょうか。

市長 議員からの5年間の延長提案については、当市の状況を踏まえ、5年間の延長を軸に検討したい。

質問 会派では、地盤の優位性を強みに、アマゾンドットコム（Amazon.com）のデータセンター誘致を推進しているが、外資系企業の誘致やデータセンターを集積させるビジョンはどうか。

答弁 航空運輸業や上場企業に特化した奨励措置はないが、立地となれば、安定した税収や雇用の増が考えられる。議員からの提案を前向きに検討したい。

（※）格安航空会社



◆その他の質問

- 医療・介護・子育て支援
- ごみ処理行政の課題
- 東京オリンピック開催と本市のスポーツ振興

代表質問

子育て支援策と 今後の北総運賃問題について 新政 軍司 俊紀 議員

質問1 印西市における「子育て支援施策」について。

①認可外保育施設への補助について、来年度の予算化をどう考えているか。②学童保育について、市はどのように考えているか。

健康福祉部長 ①財政面での負担も十分に考慮した上で、来年度の予算化について検討していく。②今年度、木刈及び、いには野学童クラブの施設を増設し、定員を増員して、待機児童の解消に努めた。今後も利用者の増が予想される地区もあり、各地域のニーズを把握しながら、保育スペースの確保などにより、対応していく。

質問2 北総線の運賃問題について。民間シンクタンクからの報告書を受けて印西市では何をするのか

企画財政部長 県や鉄道事業者も含めた関係者間で協議し合意形成を図っていく。

質問 その報告書を受けて、いつまでに印西市としての考え方の結論を出すのか。

答弁 議会も含め説明をし、市の考え方を対外的に他の自治体、関係者に示すため、年内位には市の考え方を取りまとめる。

質問 報告書の内容は千葉・沿線市と一緒に検討すべきではないか。

答弁 北総鉄道（株）からの見解の相違、事実の確認等とりまとめ、データの反証が出揃った上で、関係市に持ち込むべきものかと思っている。それらも含め、年内位を目標にして、1月以降、年度内の3ヶ月間で関係者と合意形成を含めた協議を図っていく。



◆その他の質問

- 待機児童対策と私立幼稚園への入園費補助について
- 学校給食センターの現状と今後について
- 印西市における2次救急医療体制について
- 印西クリーンセンター移転問題について
- 放射線・放射能対応について（民有地除染について）
- 印旛中央地区開発について
- 牧の原駅圏の将来について（買い物支援・郵便局・交通問題について）

代表質問

自治会の助成金過剰受給
どう対応しているか

市民 山本 清議員

質問1 専門家による北総

鉄道の経営分析の調査報告書は、どのようなものだったか。

市長 調査報告書は、平成24年度の損益計算をベースに、公費負担なしの運賃値下げシミュレーションを4パターン実施し、3つについては実現可能、という見解を示した。

質問2 この報告書は、平成27年度からの補助金スキームが違法になる可能性を指摘している。報告書の考えからすれば、今年度、来年度の補助金の合法性にも疑問があるが、今年度の執行、来年度の予算化はどうするのか。

質問3 補助金の合法・違法について、調査報告書や、行政法の専門家の見解を参考にしつつ、慎重に検討していき

たいと考えている。

質問2 加入世帯を過大に

申告し、過剰な助成金を得ている自治会がある。どのように対応しているか。

市長 早期に返還請求する

べきと判断し、「印西市行政協力補助金の一部取消・返還請求」を印西市町内会自治会連合会会長あてに通知した。

質問3 その通知には不備があった。なぜそうだったのか。

市民部長 私としては文書

作成に関わっていないので把握していない。

質問 稟議のプロセスを経ず、市長が直接書いて郵便を出すということになった理由は何か。返還請求の文書を作ってくれと市長が言ったのを、あなたが断ったのではないか。

回答 そういう話は市長からあった。どうしても時間的なものがある、と市長は判断した、と私は理解している。

質問4 募金横領疑惑は、印西市にとって不祥事か。

市長 残念ながら、不祥事と言わざるをえない。

◆その他の質問

- 医療施設の現状
- 市内の放射線について
- 小学校周辺の横断歩道



代表質問

市民の命と健康を守る
各種施策を提案

公明クラブ 浅沼 美弥子議員

質問1 胃がんの原因はピ

ロリ菌。胃がんは予防できる「がん」だ。そこで胃がんの原因であるピロリ菌の有無を調べる検査と、胃粘膜の萎縮

度検査を合わせた、胃がんになりやすいかどうか分かる「胃がんリスク検査」を導入

する自治体が増えている。早期導入すべきでは。認識を伺う。

市長 国は、胃の検診としてはバリウム検査を推奨している。「胃がんリスク検診」の導入については、今後検診の有効性に対する国の検証等動向を注視。調査、研究する。

質問2 学校の非構造部材の耐震化は重要かつ緊急の課題だ。窓ガラス飛散防止フィルム

の貼付けを行ってはどうか。

教育部長 まずは吹き抜けのある昇降口の高窓部分について設置を検討する。

質問3 緊急時の消防との

連携を図るため、①高齢者・障がい者に救急医療情報キットの配布を提案してきたが現状はどうか。②学校、幼稚園

等での緊急時に消防隊員に引き継ぐ「子ども安心カード」を作成し、活用する考えはな

いか。

健康福祉部長 ①消防署等の救急活動が迅速に行える効果が期待できる。担当課は介護福祉課及び社会福祉課。配布方法をどうするか等運用面の課題整理が必要だ。予算は

キット価格一式2000円程度。65歳以上全員配布で約300万円。対象者の範囲の検討を重ね、予算確保に努めた

い。

教育長 ②「子ども安心カード」は児童生徒を学校から救急隊に引き渡す際に使用する個人カードとして群馬県渋川市等で活用されている。今後調査し、消防機関との連携体制の一層の充実を図りたい。

◆その他の質問

- 健康マイレージの導入
- 「こころの体温計」導入
- 妊産婦歯科検診無料券配布
- 新たな子育て支援充実策
- 幸福度調査実施の考え
- 気象情報入手に民間の活用



※この写真はイメージです。

代表質問

自治会・マンション
管理組合の施策のあり方

ひびき 金丸 和史議員

質問1 町内会等への助成

金問題に関して、返還請求を市長が行うとした2自治会で

は私腹を肥やす等の事実はなく、加入世帯の解釈の違いや

マンション管理組合の有無の中で生じたことと考えるが、市の要綱や連合会の内規に照らして、問題があったのか。

市民部長 要綱や内規上では、問題はなかった。

質問 市長は、加入世帯は

会費納入世帯と考えているか。

市長 そのとおりである。

質問 集会所に対する補助金や自主防災組織の助成金を管理組合に交付する考えはないか。

総務部長・市民部長 今のところは考えていない。

質問 町内会等では加入率が減少、高齢化し、役員にな

る方が不足しているが、町内会等（市民活動推進課）、管理組合（建築指導課）及び自主防災組織（防災課）の施策は縦割りではなく、横断的に遂行すべきと考えるがいかがか。



市長 議員指摘のとおり、各課に指示を行いたい。

質問 管理組合を認定自治

会として、助成金の対象とすべきだと考えるがいかがか。

市民部長 研究したい。

質問 助成金を行政協力部分と市民活動部分とに分離すべきと考えるがいかがか。

市民部長 連合会と調整を図りながら、検討していき

たい。

質問2 クリーンセンター更新計画について、延命措置をしなければならぬ。そこで、地元説明が必要であるが、考えは。

市長 環境委員会や説明会で説明していき

たい。

質問3 特別養護老人ホームの公募で、要綱記載に反して、5事業者

中3位の事業者を選定したが、問題ではないか。

市長 諸条件を勘案して私が選定した。今後も事業者の問題があれば、私が選定する。

◆その他の質問

- 専門資格者登用について他

北総地区11市議会が集まり
「分権改革と地方議会の役割」について学ぶ

北総地区市議会議員研修会開催

10月18日（金）成田市において、千葉県北総地区市議会議員研修会が開催され、印西市議会から14名の議員が参加しました。講師にNHK解説副委員長城本 勝氏をお迎えし、「重み」を増す地方議会の役割や、地方議会改革の方向性についてご講演をいただきました。



個人質問

責任ある政治を
スピードを持って

上條 公司 議員

質問1

印旛高校跡地活用について、変更があった。地元有志と市当局が話し合い青写真ができ、去る1月広報いんざいに掲載、基本計画が発表された。変更は、工事進行上の問題か、財政上の問題か、基本事情の問題か。計画があまりにも杜撰だったのではないか。

予定。
企画財政部長 財源情報を収集し、活用可能な場合は、積極的に国・県の支援策を取り入れ、確保に努めたい。

質問2

私は、度々教育に関する質問をしてきた。教育は人間の根幹を成すものであり、国の礎となる。子ども達に良い教育環境を、と常に考えている。

市長 事業内容の検討結果と用地取得の遅れから、国の交付金対象事業を期間内に完了できないと判断したため。跡地は本年度と来年度に取得

先ごろ、学力テストで今年も日本一になった秋田県の教育庁と湯沢市教育委員会を訪問、話を拝聴してきた。さて、

個人質問

ふれあいバスの
利用者増に向けて

海老原 作一 議員

質問1

利用者ニーズと運行費用の双方を勘案した運行改善は進んでいるか。

企画財政部長

運行費用では平成24年度で約7000万円を支出し、運行改善では平成23年9月より2ルートを新設し6ルートとし、日曜、祝日の運行を開始した。今後もニーズを把握し、財政負担も考慮し、運行改善を図る。

バス株の取り組みを調査研究し、ふれあいバスの利用者増につなげる考えはあるか。

回答

ホームページで公開情報を収集し、現地視察の日程調整をしている。ふれあいバスに活用できるかどうか調査・研究をしていく。

質問

利用者増を図るために住宅集積の高い地域にバス停を増設する考えはあるか。

回答

住宅の近くで利用する方々が、集まりやすい場所、バス停間の距離や安全面に配慮し、検討していく。



質問 イーグル

◆その他の質問

市民アカデミーについて
自然環境の保全について

質問 利用促進のため割引率の高い年間フリーバスを導入してはどうか。

回答 全体的な公共交通サービスに考慮しなければならぬことから、民間バス会社との意見交換を踏まえ、検討する。

質問 歩道整備のされていない通学路対応は可能か。

回答 ふれあいバスを安全確保という面で、通学に活用することには問題がないが、他ルートからの登校時だけのスクール便のようなバス運行は難しい。

個人質問

保育士の待遇改善と
保育園建設を早急に

山田 喜代子 議員

質問1

①保育園整備の進捗状況はどうか。②早朝からと、夕方からの保育士が不足しているとのことだが、正規と非正規の保育士の割合は。③民間の建設を待つのではなく市独自で建設すべきだ。

健康福祉部長

①印西総合

病院敷地内保育園が定員72名で平成26年3月開園予定。小倉地区に定員90名で26年4月開園予定。また、草深、原地区に定員75名の保育園が開園に向けて現在諸手続き中である。②正規が50名、非正規が

122名である。

市長

③待機児童問題は深刻だ。解消しないといけない。今は民間に助けられているが、よく考えてみる。

質問2

ニュータウン事業による開発から自然環境をどう守るのか。奇跡の原っぱと呼ばれるようになった地域がある。日本生態学会や日本保護自然協会からも要望書が出るほど、全国的にも貴重な生態系が残っている。これを活かしたまちづくりを検討できないか。まちづくりをすすめる

ていく上で、今後、千葉県企業庁、都市再生機構、市、市民団体との協議の場が必要ではないか。

市長 できれば同じテーブルで協議することが必要。

質問3

生活保護費の削減について、食費、光熱費となる生活扶助費が削減された。具体的な影響は。

健康福祉部長

保護者2人、中学生2人で月額5220円の引き下げとなる。

◆その他の質問

○市民目線のまちづくりを市としてアンケートの実施を

個人質問

守れ子どもの安全
本塾第一小に学童クラブを

近藤 瑞枝 議員

質問1

保育園・幼稚園・小中学校での防犯訓練、防犯用品、不審者対策はどうか。

市長

保育園は月1回、幼稚園は隔月に1回程度、小中学校は年1回以上の訓練、または防犯教室を行っている。

刺股・ネットランチャー等を配備し、玄関の施錠や校内巡回をして、不審者の侵入防止、早期発見、早期対応に努めている。

質問

備品は十分か。

教育部長

更に補充できれば、園児・児童生徒の安全確保

保がいっそう充実する。

質問

門扉等が無い、いはは野小学校・滝野小中学校の状況をどう考えるか。

回答

学校現場や地域の事情を考慮しながら、侵入防止対策を検討したい。

質問

抑止力の高い防犯カメラの導入はどうか。

回答

検討していない。

質問

経費、設置の容易さからも、ぜひ検討すべきでは、

具体的な検討はしていない。

質問2 学童クラブの現状

会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。なお、従前どおり、会議録は次の場所で閲覧できます。

第3回定例会の会議録は、12月中旬頃閲覧開始予定です。

◇議会事務局（市役所5階）

◇行政資料コーナー（市役所1階）

◇支所（印旛・本塾）

◇市内図書館6館（大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本塾）

印西市議会 会議録の検索と閲覧

検索する

閲覧する

※利用方法
※システムでは、人名や地名など「1」を第1、第2と表示しない文字については、「1」を第1、第2と表示する文字に置き換えて表示しております。会議録本文と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

? 使い方

個人質問

次期中間処理施設、
印旛明誠高校の現状

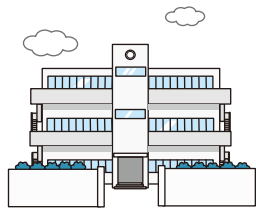
大塚 輝男 議員

質問1 次期中間処理施設見直しの進捗状況はどうか。

環境経済部長 白紙撤回をする判断材料として、施設の新たな用地の選定作業をしている。

質問 諮問された2つの委員会の進捗状況はどうか。

答弁 基本計画委員会は予



定通りだが、用地検討委員会は遅れが生じている。

質問 建設場所で市街化調整区域と市街化区域でのコストに対してはどうか。

市長 用地検討委員会に諮問し、その答申を踏まえ、適切に考える。

質問 現中間処理施設の延命策のコストをどのように考えているのか。

環境経済部長 印西地区環境整備事業組合において詳細調査から、策定される延命化計画のなかで決定される。

質問2 市内の中学校の進路状況と、地元の高校への入学者数はどうか。

教育部長 卒業生821名中、進学率は99・1％。印旛明誠高校への入学者は93名で11・4％である。

質問 印旛明誠高校は県下のなかで規模はどうか。

答弁 県立高校1校当たり約260人で、印旛明誠高校は募集人員160人で中規模から小規模の位置である。

質問3 県道鎌ヶ谷・本埜線の管理状況と、バイパス線の進捗状況はどうか。

市長 除草については年1回実施。用地取得は面積ベースで89％である。仮盛土など実施している。

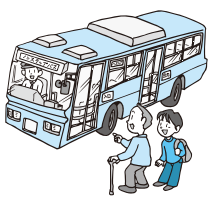
個人質問

バス交通の充実で
交通弱者に優しい対応を

岩崎 成子 議員

質問 バス交通について①拡大した市域②高齢者・障がい者等への対応は。

企画財政部長 ①印西市地域公共交通総合連携計画に基づき推進し、地域公共交通会議等で意見をいただき対応している。ふれあいバス路線は、印旛支所・布佐ルートの実証運行により、交通不便地域の解消を図っている。また、独立採算が難しい民間路線に



民間路線に

ついても、公的支援を行い運行の維持を図りつつ、新たな路線や延伸などについて検討し、事業者と連携をとり利便性の向上に努めている。②バス車両のバリアフリーを推進し、利用環境の改善を図っている。

質問 印旛支所から市役所にふれあいバスで移動するには、印西牧の原駅南口で中ル

ートに乗り換える必要がある。所要時間が78分もかかるため、直接往復するバスの運行を望む声があるが、市長の

見解は。

市長 市全体の公共交通のバランスを踏まえ検討していく。

質問 補助路線バスの印旛学園線は、一時間に一本も運行していない時間帯がある。増便について、ちばグリーンバス(株)と協議しているか。

企画財政部長 バス一台で一人の運転手で運行している状況。増便については、事業者と協議を行っていく。

質問 交通弱者等のために増便は必要。市長の見解は。

市長 日常生活に密着な移動手段の一つであると思う。

◆その他の質問

○観光事業の推進について他

個人質問

いんざい健康貯筋運動で
健康生活を

酢崎 義行 議員

質問1 ①ふれあいいんば健康づくりセンター②そうふけふれあいの里ヘルスアップ教室の利用状況は。

健康福祉部長 ①年間利用者延人数は概ね1万5000

人で横ばい状態、65歳以上の利用者が毎年1000人規模で増加している。②例年600人、8000人程度で参加者の運動の習慣化という点では十分効果が出ている。

質問 「いんざい健康貯筋運動」の実施グループは。



答弁 吉田、吉高台、滝野、ロコモクラブ（木刈四丁目）の4つのグループが実施しており、51人が参加している。

質問 この運動の活用を推進する上での課題は。

答弁 住民が住み慣れた地

域で日常生活を維持するため地域住民が自主的に運動に取り組み「介護予防」と、自助、共助の理念を基にした「活気と団結力のある地域づくり」を行うことを目的としているので、自主的な運営に対する理解や、運営を支援するサポーターの養成が難しいと考える。今後の推進については、運動の趣旨を理解してもらうため出前講座等で市内全域に周知を図っていく。

◆その他の質問

○企業誘致推進で税収アップ
○市の施設に太陽光発電を
○印西総合病院が二次救急医療体制整備に着手
○市道松崎吉田線の早期完成

個人質問

北千葉道路早期整備と
救急医療ネットワーク整備を

松尾 榮子 議員

質問1 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて東京外環道、圏央道等の整備の加速が言われているが、その前に都心と成田空港を直結する北千葉道路の整備が急がれるべき。北千葉道路早期整備、市川―鎌ヶ谷間事業化のアピールの考えは。

市長 沿線自治体と連携を図り、整備促進に取り組む。

質問2 (株)カインズ開業時の交通渋滞等への対策は。

都市建設部長 関係課で連携して対応、新住事業者にも

周辺道路と調整を求めている。泉地先旧北環状線も供用開始され対策に寄与すると思う。

質問3 ニュータウン北環状線は印西市としても国道16号や船橋・鎌ヶ谷方面への重要幹線道路。白井市域の未整備区間は、高校生が自転車

で早期整備に取り組み考えは。

都市建設部長 未整備区間は都市再生機構が整備を進めているが、平成25年度までに

完了しない箇所は県に引継ぐ予定と聞いている。共に強く要望していく。

質問4 一人暮らしの高齢者等が複数の問題があっても短時間で救急搬送される体制作りが必要。かかりつけ医師や薬、離れて暮らす家族の緊急連絡先等を記入した紙を容器に入れ、冷蔵庫に保管しておく救急医療情報キットについて、以前にも質問したが、対応は。

健康福祉部長 有効性については十分把握しており、実施に向けて検討を進めたい。

◆その他の質問

○住みよさ日本一の街
○北総線運賃問題他

「いんざい市議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています。

【題材】印西市の四季折々の風景

【応募資格】市内在住、在勤または在学の方

詳細については議会事務局までお問い合わせください。

【議会事務局】 ☎0476-42-5111(代) 内線 607・608

《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、11月28日(木)～12月18日(水)の会期予定です。

開会は午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合もあります。

詳細については、お尋ねください。



市長選挙の収支報告と

不法ヤード対策

橋本 和治 議員

個人質問

質問1 昨年7月に実施された市長選の収支報告について、報告漏れはないか。

市長

申告漏れはない。

質問 市長選挙初日の弁当は合計で12食しか計上されない。他の日に比べて極めて少ないのは何故か。

答弁 地元の方々が、おむすび、まぜご飯、漬物など、作ってくれる。大勢集まった時には、おいしい料理を作ってくれる。弁当は少ないが、おいしい料理を作ってもらったので、理解してほしい。

質問 初日の12食に比べ7月5日は42食と多い。運動員は4名だが、42食の弁当を食べたのか。

答弁 よく把握していない。

質問 選挙事務所に来られた方にお茶が出されている。しかし、収支報告書には記載がないのはなぜか。

委員会視察報告

「議会改革」を

推し進めるために

議会運営委員会

議会運営委員会では、10月9日から11日までの日程で、議会改革の一助とするために視察研修をおこなった。

10月9日(水) 岩手県陸前高田市議会（テーマ 議会の危機管理について）

同議会は、東日本大震災において、現職の議員からも犠牲者をだし、市役所・議場も流失するという甚大な被害を受けた。その中で、議会としての機能を果たすべく、暗中模索の中、できる限りの取り組みを行ったと伺った。非常に時に、議会として何ができ、どのような対応が求められるのか、災害対策マニュアルの整備や、情報の伝達・共有、行動（安全）の把握など課題は尽きない。当市議会としても、早急に災害対策マニュアルを作る必要があると感じた。

10月10日(木) 岩手県奥州市（テーマ 自治基本条例と議会基本条例について）

本市では、いずれの条例も未制定だが、奥州市では両条例をほぼ同じ時期に制定した。特に、自治基本条例は制定まで2年半かけて、市民の意見を反映させ、議会では全会一致で可決した。また、両条例は合併後の市民、行政、議会間の統一認識を醸成することに大いに役立ったとの説明があり、本市にとっても、市民、行政、議会間の、一体感を醸成するための手法として、両条例の制定も視野に入れた検討を開始すべきと感じた。

10月11日(金) 福島県郡山市（テーマ 議会運営規定について及び政務活動マニュアルについて）

同議会の運営は、当市議会の運営とおおむね同じであったが、特別委員会は現在設置されていなかった。以前は、東日本大震災対策や、福島第一原子力発電所事故の放射能から市民を守るための調査を行う特別委員会を設置していたが、付託案件が結審したため、既に解散しているとのことであった。また、政務活動費の手引きを頂戴した。当市議会では政務活動費に関するマニュアルが未制定であり、今後の制定に向けてこの手引きを大いに活用したい。

地域の再生をみんなの手で

（ISO導入、水俣市）

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会では、10月21日から23日の3日間福岡県糸島市、熊本県水俣市、熊本県山鹿市に赴き、視察を行った。

糸島市では、地元で開発したみかんの「はるか」をはじめとした農産物の、新しい加工商品をつくりだし、農業の6次産業化への支援を行っている。出来た商品は、年間約35億円を売り上げているファーマーズマーケットJ.A「伊都菜彩」で販売している。また、小田急百貨店で販売、Foodexに参加、T.P.Pへの対応としてJETRO香港で試験販売を行うなど、販売先の確保に積極的に取り組む姿勢がうかがえた。

水俣市では、ごみの減量化は、環境モデル都市づくりの一環として行われており、平成21年に「ゼロ・ウェイストのまちづくり水俣宣言」を行い、現在では24分別は全て市民の手で行われている。また、民スポーツセンターとなったが、決定するまで地元の一部を除いては市民に説明はしなかったとのこと。その理由は、処理施設の確保は市の責務であり、責務を全うすることが第一であるとの考えからであるとの説明があった。

山鹿市の廃棄物処理施設については、公募物件と市有の用地を検討対象に入れ、可能性のある数か所について点数化し、比較した。その際、公募地については25点の公募点を上乗せし、比較したとのこと。決定地は、市有の山鹿市民スポーツセンターとなつたが、決定するまで地元の一部を除いては市民に説明はしなかったとのこと。その理由は、処理施設の確保は市の責務であり、責務を全うすることが第一であるとの考えからであるとの説明があった。

個人質問

町内会補助金不正請求、

違法は許さない

雨宮 弘明 議員

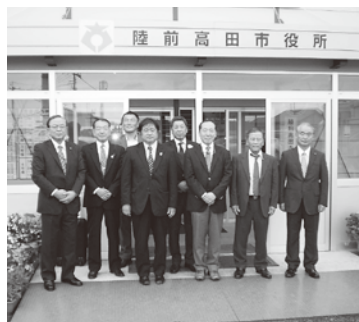
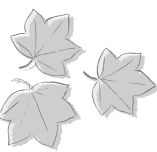
質問1 町内会自治会への補助金問題について①印西市行政補助金交付要綱には4月1日現在の加入世帯数×1100円と規定されている。全戸数で申請していたマンションなど違反していることは明らか。過払いした団体には返還請求すべきだ。②町内会自治会連合会は、補助金を加盟団体に送金する際、規定もないのに会費2000円の他に1万円を差引き、町内会自治会連合会本部にプールして使っている。是正すべきだ。

市長 ①過払い補助金については今後、刑事、民事の法的対応などを早急に検討していきたい。②今後、そのような事務が合法・妥当かどうかについて調査し、市と町内会自治会連合会との関係を再検討していきたい。

質問2 北総線の高運賃問題について①自治体側は「合意書」通り補助金を払っているが、北総鉄道株が負担する3億円の拠出方法について、合意後の負担方法に関する協議でどのように決まったのか。

市長 ①合意書締結後、平成21年度12月に開催された課長会議では、県・沿線市の負担方法について協議を行っているが、北総鉄道の負担方法については協議していない。

企画財政部長 ②補助金の適法性については、市長が、「専門家の意見を参考にしながら慎重に検討していく」と、代表質問に答弁している。



建設経済常任委員会では、10月21日から23日の3日間福岡県糸島市、熊本県水俣市、熊本県山鹿市に赴き、視察を行った。



建設経済常任委員会では、10月21日から23日の3日間福岡県糸島市、熊本県水俣市、熊本県山鹿市に赴き、視察を行った。

常任委員会の審査内容

一部の議案について、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。9月9日に予算審査常任委員会、17日に文教福祉常任委員会、18日に建設経済常任委員会、19日に総務企画常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた主な議案と審査内容の概要を掲載します。

印旛支所は ふれあいセンターいんばへ

予算審査常任委員会

●一般会計

【印旛支所移転に要する経費】

に向けた経費として996万8000円である。

【内容】印旛支所庁舎の老朽化に伴い、支所に隣接する「ふれあいセンターいんば」に移転するための経費を増額補正するもの。

質疑 経費の内容は。

答弁 千葉県後期高齢者医療広域連合システム移設手数料、支所庁舎のアスベスト調査委託費、LANの配線工事、パーティーション購入、解体等工事設計業務委託等、ふれあいセンターいんばに移転するための費用及び支所庁舎解体

支所庁舎を解体して更地にした後の計画はあるのか。

答弁 解体等工事設計業務委託に利用形態についても設計を委託する予定である。

解体後は、駐車場及びロータリーを計画している。今現在の印旛支所には大型バスが入れないことから、大型バスが入りUターンができるよう、警察とも協議して設計していく。

【審査結果】

●平成25年度印西市一般会計



補正予算〔可決〕

●平成25年度印西市下水道事業特別会計補正予算〔可決〕

●平成25年度印西市介護保険特別会計補正予算〔可決〕

子ども・子育て会議設置へ

文教福祉常任委員会

【子ども・子育て会議設置条例の制定】

【内容】平成24年8月に公布された子ども・子育て支援法の規定に基づき、地域の子育てに関する意見を聞くことを目的に本条例を制定するもの。

質疑 子ども・子育て事業を具体的な内容は。また、会議はどのくらいの頻度で行うのか。

答弁 子ども・子育て支援事業の計画を策定する予定である。待機児童対策や家庭的保育事業をどう増やしていくかや、市民へのアンケート調

査によりニーズを把握したものを提示する。それらを議論し、計画に盛り込んでいく。

会議の頻度は、今年度で2回程度、来年度は5回程度を予定している。

質疑 委員の構成は。

答弁 子どもの保護者として公立幼稚園・保育園の保護者から各1名ずつ、市内事業者の代表1名、子ども・子育てに関する事業に従事する者として保育関係者3名、学識経験のある者4名、公募により選出された市民2名のあわせて12名を考えている。

●印西市子ども・子育て会議設置条例の制定について〔可決〕

●印西市在宅介護支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について〔可決〕

●印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

自然を生かした 別所第2公園整備へ

建設経済常任委員会

【別所第2公園整備事業に係る施行業務委託】

【内容】別所第2公園 面積2万7000.95㎡の整備事業の契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

質疑 公園整備の総事業費及び社会資本整備総合交付金と基盤整備負担金の割合は。

答弁 契約金額は2億4526万円であり、そのうち約4割が交付金、約6割が負担金である。

質疑 公園整備費には遊具など含まれるのか。具体的にどのようなものが設置されるのか。

答弁 トイレ、広場、滑り台、健康遊具等が整備費に含まれている。具体的には、男女トイレ・多目的トイレ、砂場、滑り台、ベンチ、複合遊具やあずまや1基、ぶら下がりの健康遊具を設置する予定である。

質疑 観察デッキは希少な生物の観察もできるのか。

答弁 貴重なヨシなど植物や希少生物の観察も含めて設置予定である。

【審査結果】

●印西市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●印西市下水道条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●印西市公共下水道事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●印西市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●業務委託契約の締結について〔可決〕

●財産の取得について〔可決〕

●財産の取得について〔可決〕

●印西市道路線の認定について〔可決〕

小倉青年館の建替に向けて

総務企画常任委員会

【印西市青年館の設置及び管理に関する条例の一部改正】

【内容】小倉青年館の老朽化に伴い当該施設を解体撤去し、新たに町内会が建設する集会所に建て替えるため、青年館の用途を廃止することから、条文の整備を行うもの。

質疑 青年館はいつ解体するのか。

答弁 この議案が承認された後に、市が建物を撤去し、その後小倉町内会が集会所を建設する予定である。

【審査結果】

●印西市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●印西市税条例等の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●印西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について〔可決〕

●字の区域及び名称の変更に



平成25年第3回定例会 議案と審議結果一覧

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席、欠＝欠席
※議長（渡邊正一）は採決に加わりません。

番 号	件 名	議決結果	浅沼美弥子	雨宮弘明	岩崎成子	海老原作一	大塚輝男	小川勇	國嶋久善	近藤瑞枝	酢崎義行	中澤俊介	橋本和治	藤代武雄	松尾榮子	山本清	上條公司	軍司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	松本多一郎	小川義人	渡邊正一
《 議 案 》 （ 市長提出議案 ）																								
議案1	印西市子ども・子育て会議設置条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案2	印西市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案3	印西市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案4	印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案5	印西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案6	印西市在宅介護支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案7	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案8	印西市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案9	印西市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案10	印西市公共下水道事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案11	印西市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案12	平成25年度印西市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案13	平成25年度印西市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案14	平成25年度印西市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案15	業務委託契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案16	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案17	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案18	字の区域及び名称の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案19	印西市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
認定1	平成24年度印西市一般会計歳入歳出決算認定について	不認定	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	退	×	—
認定2	平成24年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
認定3	平成24年度印西市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定4	平成24年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
認定5	平成24年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
認定6	平成24年度印西市水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意1	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて（寺田 節子 氏）	同意	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	—
同意2	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（寺田 充良 氏）	同意	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	—
諮問1	人権擁護委員の候補書の推薦につき意見を求めることについて（中嶋 加奈江 氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問2	人権擁護委員の候補書の推薦につき意見を求めることについて（伊賀崎 眞理子 氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
《 議 案 》 （ 議員提出議案 ）																								
発議案1	議会改革推進特別委員会の設置について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
発議案2	平成24年7月執行の印西市長選挙における板倉正直候補の選挙運動費用収支報告書に関する調査等に関する決議について	否決	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	—
発議案3	町内会自治会補助金等の調査に関する決議について	否決	×	○	×	×	退	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	—
発議案4	印西市議会本会議での橋本和治議員によって繰り返される板倉市長への名誉棄損発言等に関する調査等に関する決議について	否決	×	○	×	×	退	×	○	×	×	×	退	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	—
発議案5	議員橋本和治君に対する懲罰動議について	継続	懲罰特別委員会へ付託し、閉会中の継続審査とする。																					
発議案6	印西市議会議員の議員倫理等に関する調査等に関する決議について	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	—
	処分要求の件	継続	懲罰特別委員会へ付託し、閉会中の継続審査とする。																					
	常任委員会の閉会中の継続調査について（総務企画常任委員会）	継続	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—

議会日誌

8月

- 2（金） 印旛管内市議会正副議長会 定例会
- 6（火） 石川県能美市議会 総務常任委員会 視察来庁
- 8（木） 印西地区環境整備事業組合議会 臨時会
- 22（木） 議会運営委員会
- 28（水） 議会運営委員会
正副委員長会議
- 29（木） 議会だより編集委員会

9月

- 2（月） 議会運営委員会
- 4（水） 第3回定例会（～10月4日）
- 9（月） 予算審査常任委員会
- 10（火） 決算審査特別委員会（～12日）
- 17（火） 文教福祉常任委員会
- 18（水） 建設経済常任委員会
- 19（木） 議会運営委員会
総務企画常任委員会
- 24（火） 会派代表者会議
全員協議会

10月

- 1（火） 決算審査特別委員会
- 2（水） 議会運営委員会
- 7（月） 議会改革推進特別委員会
- 8（火） 議会だより編集委員会
- 9（水） 議会運営委員会視察（～11日）
- 16（水） 印西地区環境整備事業組合議会 定例会
- 17（木） 議会運営委員会
議会改革推進特別委員会
- 18（金） 北総地区市議会正副議長会 議員研修会
- 21（月） 千葉県市議会議長会 定例総会
建設経済常任委員会視察（～23日）
- 24（木） 懲罰特別委員会
議会だより編集委員会
- 25（金） 印西地区衛生組合議会 定例会
- 28（月） 印旛広域市町村圏事務組合議会 定例会
- 29（火） 総務企画常任委員会
文教福祉常任委員会視察（～31日）
- 30（水） 大阪府豊中市議会 議会運営委員会 視察来庁

発議案

▼第1号 議会改革推進特別委員会の設置について〔可決〕

印西市議会における改革すべき事項について検討を行い、議会改革を推し進めていくため設置するもの。

▼第2号 平成24年7月執行の印西市長選挙における板倉正直候補の選挙運動費用収支報告書に関する調査等に関する決議について〔否決〕

平成24年7月執行の印西市長選挙における板倉正直候補の選挙運動費用収支報告書に関する調査等を地方自治法第109条及び委員会条例第6条の規定により特別委員会を設置し、調査するもの。

▼第3号 町内会自治会補助金等の調査に関する決議について〔否決〕

自治会に対する印西市の補助金の問題点等を地方自治法第100条の規定により町内会自治会補助金等の事務に関する調査を行うもの。

▼第4号 印西市議会本会議での橋本和治議員によって繰り返される板倉市長への名誉毀損発言等に関する調査等に関する決議〔否決〕

印西市議会本会議での橋本和治議員によって繰り返される板倉市長への名誉毀損発言等に関する調査等について、地方自治法第109条及び委員会条例第6条の規定により特別委員会を設置し調査するもの。

▼第5号 議員橋本和治君に対する懲罰動議（継続審査・懲罰特別委員会に付託）

平成24年9月以来、平成25年9月に至るまで、印西市議会で橋本和治議員によって、板倉正直市長に対する名誉毀損発言、侮辱発言など、議会の品位を毀損する発言等が繰り返されている。議会の秩序を乱し、議会の品位を傷つけることから、懲罰を科するもの。

▼第6号 印西市議会議員の議員倫理等に関する調査等に関する決議〔否決〕

昨年の募金横領疑惑等、印西市議会議員の倫理について調査・研究することは、印西市議会にとって急務であることから、地方自治法第109条及び委員会条例第6条の規

陳情

定により特別委員会を設置し、調査を行うもの。

▼違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情（議員配付）

▼母（朱春菊）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望（議員配付）

▼森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に関する陳情（議員配付）



懲罰特別委員会

議員発議による懲罰動議及び侮辱を与えた議員に対する処分要求が提出されました。懲罰動議及び処分要求は委員会へ付託されることとなります。

▼議員橋本和治君に対する懲罰動議について（発議案第5号）

委員長	松本 多一郎
副委員長	藤代 武雄
委員	浅沼 美弥子
〃	海老原 作一
〃	國嶋 久善
〃	酢崎 義行

委員 山本 清

〃 金丸 和史

▼処分要求書

発議案第2号の反討論論において、両宮弘明議員が橋本和治議員に対し発言した内容により侮辱を受けたこと。

委員長	松本 多一郎
副委員長	藤代 武雄
委員	海老原 作一
〃	國嶋 久善
〃	酢崎 義行
〃	橋本 和治
〃	山本 清
〃	金丸 和史

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、審議を行っています。提出期限については、議会事務局にお問い合わせください。

一般質問の閲覧

平成25年第4回定例会（12月議会）で予定されている一般質問（個人）の内容は、11月27日（水）以降ホームページで閲覧できます。

編集後記

今定例会では、平成24年度の決算審査が行われて一般会計は不認定となった。また、何本も提出された議員提出議案の取り扱いに時間を要し、議会は一日延長となった。議案について、各議員の賛否一覽を9頁に掲載、市政判定の一助となることを願う。

さて今号は、一般質問と委員会の質疑・報告をそれぞれ四角で囲んでいる。「伝える広報から伝わる広報へ」と考え、編集に取り組んだ。紙面全体の配置はもとより、常任委員会審査における見出し文言等知恵を絞ったつもりであるが、さてわかりやすい「議会だより」になったであろうか。読後のご叱正を、心から歓迎する。

議会定例会が終了した10月は台風襲来。26号は、伊豆大島に死者三十数名という甚大な被害をもたらせた。印西市内でも被害があった。改めてお見舞い申し上げる。

（文責・上條公司）
※議会だより編集委員会副委員長が両宮弘明議員から、新たに上條公司議員が就任し、新たな体制でスタートしました。

委員長	小川 義人
副委員長	上條 公司
委員	海老原 作一
〃	酢崎 義行
〃	山田喜代子